

# 講演会 & ライブ な日々

古川 秀明

自らシンガーソングカウンセラーと名乗り、あちこちで講演会とライブをしている。うまくいく時もあれば、うまくいかない時もある。自分の記憶に残るのはたいていうまくいかなかった時や苦労した時のことだ。そんなあれこれを書いてみたい。自分の中のマイナスの記憶をトラウマなどにとすることなく、おもしろおかしくユーモアに変換する能力を身に付けるためのエクササイズにもなるのだが、それを読んだ人のお役に立つとも思えないし、お付き合い願うのは心苦しい。だけど、対人援助マガジンは何を書いても良いということを知っているから、気軽に楽しみながら書いてみようと思う。

○月×日 A市子育て支援講座

対象 0から3歳までの子どもを育てている母親

人数 100人

場所 地域にある交流ホール

もともとは歌のライブを1時間して欲しいという依頼だった。自慢ではないが、子育てをする母親や子ども向けの歌をたくさん作っているから1時間歌うのはちっとも苦にならない。

ここで注意しなければならないのは乳幼児の集中力だ。

病気でもない限り、子どもが1時間も歌を大人しく聞いているわけがない。

早い子は1曲目からぐずりだす。大人しく聞く子でも20分が限界だろう。

対象が全員子供連れなので、自分の子がぐずったりしてもよその子も同じようなものだから、そんなに気を使わなくても良い。あまり激しく泣く子がいれば保育ルームが別に用意してあり、そこで落ち着くまでいることもできる。

だけどせっかく来てくれるのだから、最後まで母子で楽しんで欲しい。

なにか良い方法はないだろうか・・・。

歌で子ども達をひきつけるコンサートといえば、NHKの「お母さんと一緒ファミリーコンサート」が有名だ。

よっしゃ、これを調べてノウハウを学ばせてもらおう。

情報収集を始めると、幸運なことに現役子育てママで、実際にコンサートに参加した人の話を聞くことができた。

それによると、

1. チケットを入手するのはとても難しく、アイドル歌手並みの人気とのこと。
2. ジャジャ丸、ピッコロ、ポロリはとっくに引退しているとのこと。(ブー、フー、ウーに関しては存在さえ知らないとのこと)。
3. 現在、番組の中で子どもに人気の歌は、どれも私(古川)の知らない曲ばかりであること。

以上の3点がわかった。しかし、どれも私が年を取ったという確認ができるだけで、さほど役に立ちそうな情報ではない。

そこで、その人の感想を聞いてみた。

それによると

1. とにかく大きな会場で、後ろのほうの席だとステージの上のお兄さん、お姉さんが親指の先くらいの大きさでしか見えなかったとのこと。
2. コンサート開始前から泣き叫び、ぐずる子が大勢いて、ぐずる子どもとそれを諷める母の声で、とても落ち着いて聞ける状況ではなかったとのこと。
3. 家の大画面テレビで観ているほうが、親も子もころから楽しめるとのこと。
4. 入場料、交通費、グッズ購入などで案外お金がかかるとのこと。

以上の4点が語られ、私を暗い気分にした。

子ども達に人気のキャラクターや歌がたくさんある天下のNHKファミリーコンサートでさえこのような感じであれば、私のような無名のシンガーソングライターというわけのわからないおじさんの、しかも生まれて初めて聞く曲を、大人の母親ならまだしも、乳幼児が大人しく聞くわけがない。

私の頭の中で、ライブが始まると子どもがギャーギャー泣き出し、それに母親があやしたり、叱ったりする声が重なり、会場はまるで阿鼻叫喚の世界となり、おまけに会場はホールなので、その声はよく響き渡り、私の声と交じり合い、とんでもないこととなり、最後にイライラした私が「てめえら静かに聞きやがれ！」と、まるで場末のライブハウスで酔った客相手のライブのように怒鳴ると、主催者がいきなり幕を下ろし、あなたのような下品な人はもう二度と来ないで下さい！と怒鳴られる映像が浮かんできた。

これはなんとか対策を考えないと、1時間が私と参加者の苦痛の時間となる上に、主催者からは嫌われ、仕事がなくなり、「てめえら静かに聞きやがれ！」と怒鳴ったことで、下手をすると暴言をはかれてPTSDになったと参加者に訴えられ、八丈島に流罪遠島申し付けられるかもしれない。

悩んだ末、私はある人のアドバイスを頂くことにした。

何か困ったことがあると、私はいつもこの方のアドバイスを頂き、はずれたことがない。

その方のお名前はその方にご迷惑をおかけするといけないので差し控えるが、めがねをかけていて、しゃがれた声で、大学教授で、漫画を描いていて、旅好きで、とてもよくしゃべられる明るい性格の男性とだけ書いておこう。

(続きは次号で)